海の恵みが人を繋

特集 ①



(宇和島市) 企業組合こもねっと 事務局長 清家



蒋渕地区とこもねっと

の歩みとこれからについて記したいと思い 念の実現を目指してきたこれまでの12年――今回頂いた執筆の機会に、この夢・理 今回頂いた執筆の機会に、この夢

ての西の端。

な地域とともに活きる企業」を理念とし 恵み+環境共生)×人のつながり=元気

私たち企業組合こもねっとは、

て掲げています。

その意味するところは、

海と共生する

の食を通じて、様々な人々とつながってい ことでその恵み(食)を頂き、そしてそ

くことで、本当の意味での豊かな地域と

物を活かした食品加工販売事業

③人のつながり=交流化事業(情報誌や ②環境共生=海の活性化プロジェクト事 SNSよる情報発信や交流拠点「こも 業(藻場の造成事業と環境学習会の開催 ぶち うみのいえ こもてらす」の運営

①海の恵み=素晴らしい蒋渕海域の水産 行っています。 その理念の実現のために3つの事業を を活かし、魚類(真鯛・カンパチ等)・真珠・ 潮の流れのある養殖業に適した自然環境 た入江と細木運河により、穏やかながら

当該地区は、

リアス式海岸が作り出

地域外の皆さんとの連携は絶対不可欠と 討も噂されています。高齢化も進み65歳以 閉鎖、小学校も全校生徒11名と統廃合検 高齢化は顕在化しており、 上の割合が50%を超えてしまいました。 活動を開始した平成16年当時から少子 一方で、少子化により保育園は2年前に 地域内の団結はもちろん、 地域活性化を

らの漁村でもあります。

民が参加し和気あいあいと楽しむ昔なが の子等)や市民運動会などでは多くの住 岩牡蠣養殖のさかんな地域です。伝統行事

(トントコ踊り(盆踊り)や秋祭り・亥



ととしました。第1号の食材「カンパチ」 等)に加え、季節の食材情報を載せるこ を作って送ることとしました。内容とし 着型情報誌コモマガの原型)約200部 先生など)に「こもぶち便り」(地域密 のある人(例えば、転勤された小学校の そこで、地区外の蒋渕出身者やゆかり 季節の行事や慶事(結婚・出産

としてはピッタリの表現だと思っていま 確な位置の説明とは言えませんが、 直 うために!!

活き〆→フィレー

(3枚に卸した状態)

加工→一夜干し加工→電子レンジ対応商

品→レトルト加工食品など様々な方法に

チャレンジしていきました。

その過程においても、

養殖業者や藻塩

シェフや野菜ソムリエ、

レトル

ら私たちの商品開発が始まりました。「素

にくいとのご意見も頂きました。そこか

調理や後片付けを考えると注文し

晴らしい食材をもっと身近に食してもら

も覚えています。 頂いたことを今で の注文は て激励のお言葉を 注文に合わせ 件 でし

域の便りとともに ましたが、原点は 方と蒋渕を繋いで 旬の食材が様々な 変わりません。 号の5倍に増加し 1万部以上と第1 現 年間発行部数 在のコモマガ 地





ちを結びつけてくれました。

蒋渕の素晴らしい食材が様々な方と私た どの皆様に助言を頂くことが出来ました。 媛県、

宇和島市などなど書ききれないほ インターンシップの学生、

愛媛大学、

ト製造会社やフィルム会社、百貨店

醬油·味噌会社、宇和島水産高校、

マガ旬の食材



O manual

商品開発おうちdeカフェごはん

交流拠点こもてらす

することが出来ました。 の計画が動き出し、平成27年3月に開業 年に「こもぶち うみのいえ こもてらす」 そして活動10年を迎えた節目の平成26

ので、

ているのに、

第1号の食材「カンパチ」は、身が締まつ

脂がのっていると大変好評で

したが、1尾ごと活き〆した状態でした

に加え、caféで提供するランチや電気自 流拠点(café)です。新工場ではこれま設置した環境共生型自社加工場兼地域交 での一夜干しを中心とする水産加工食品 動車で配達するお弁当の調理も行って 「こもてらす」は太陽光発電システムを

海に面した caféでは、 蒋渕の自然を五

> ます。 地元の方々とお話される光景はこれまで に無かった蒋渕の新しいカタチです。 ランチや海鮮BBQも楽しんで頂いてい 感で感じて頂きながら、 地区外から来たお客様が隣席した 魚を中心とした

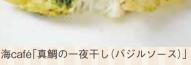
いております。 業にも認定頂き、 す。また、宇和島市高齢者見守り配食事 養殖業者の皆さんにご利用頂いておりま の真珠養殖業者や共同作業を行った魚類 宅配するお弁当は、 高齢者の方に喜んで頂 入札前など繁忙 期

実行してきたわけではありません。 書きましたが、今の形を具体的に計画し 夢・理念の実現を目指してきた12年と

めて感じています。 私たちの思いを結びつけてくれたのだと改 でくれた素晴らしい食材が、 私たちの地域資源の源である海が恵ん 様々な人と

ことではな 豊かな地域で持続していくことは簡単な 私たちの地域が経済的にも精神的にも





5